授業名	**地学の世界**		
英文授業名 ※大学によっては英文成績通知書の記載のために必要となりますので，必ずご記入ください。	Earth Science Literacy		
開講期間	2026 年度 前期		
単位数	2 単位		
授業提供大学	信州大学		
主担当教員氏名	吉田　孝紀		
副担当教員氏名			
授業のねらい ※該当しないもの行は削除してください。 ※授業で得られる地域活性化人材の能力と対応するように本授業の達成目標を設定してください。 ※「～することができるようになる」「～することができる」という形での目標設定を推奨します。	授業で得られる 地域活性化人材の能力	⇔	本授業の達成目標
	α　信州の活性化に係る知識・技能	⇔	地球科学のごく基本的な概念について理解し，それを説明できるようになること.
	β　信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力	⇔	地球科学のごく基本的な概念について理解し，それを説明できるようになること.
	γ　信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度	⇔	
授業の概要	まず地球全体における地学現象の概説を行い，プレートテクトニクスや地震，火山について学習する。次に大気と海洋循環，気象災害について学ぶ。更に，地学現象による証拠に基づいて，地球の歴史を学び，過去に生じた生物進化や環境変動について理解する。その後，惑星や恒星，銀河などの宇宙について学ぶことで，地球全体から宇宙までを対象とした地学現象の基礎を学ぶ。最後に自然の恵みを理解し，将来に向けて自然との共生の考え方を学ぶ。		
授業の計画	第 1 回	地球の概観	
	第 2 回	地球のダイナミクス	
	第 3 回	地震と火山	
	第 4 回	地震・火山災害と防災	
	第 5 回	大気の構造	
	第 6 回	太陽放射と大気の運動	
	第 7 回	大気と海洋の循環	
	第 8 回	日本の気象と災害	
	第 9 回	地球史の読み方	
	第 10 回	地球と生命の進化	
	第 11 回	長野県の地学	

	第 12 回	惑星の世界
	第 13 回	恒星の世界
	第 14 回	銀河の世界
	第 15 回	自然との共生　※授業アンケートを実施する
評価 ※100 点満点の点数をどのように付けるのかを記載ください。(小テストの回数や配点等)	全 15 回の各回で実施する小テストの合計点で評価する。 全体の理解度が 6 割以上 7 割未満の場合；達成目標の水準にある 全体の理解度が 7 割以上 8 割未満の場合；やや上にある 全体の理解度が 8 割以上 9 割未満の場合；かなり上にある 全体の理解度が 9 割以上の場合；卓越している	
事前事後学習の内容	・事前学習：講義動画で表示されるスライドや補足資料（いずれも ShinXia-LMS 上で提供） の内容を一通り確認する。 ・事後学習：演習課題に取り組み，必要に応じて講義動画を再視聴するなどにより，学習内容の定着を確認し，理解を確実にする。 ※この授業は 90 時間の学習を必要とする内容である。従って，60 時間以上の時間外学習が必要となる。	
履修上の注意	各回の講義動画を着実に視聴して，小テストを受けること.「後でまとめて見る」ことは困難である. また，講義動画中の口頭での解説を聞き逃さないこと。必要に応じてスライドを印刷し，解説をよく聴いてメモを取り，理解を確かめながら授業に臨むこと。分からないところは授業後に質問すること。	
教科書	特になし	
参考書	指定しない.	